

県総合計画 第4部「挑戦する県庁」への変革 骨子案

| | |
|------|--|
| 基本方針 | 未来に希望の持てる新しい茨城づくりに向けて 「挑戦する県庁」 への変革 |
| 基本姿勢 | <p>県民本位 ▶ 「県民のためになっているか」を常に考え、政策を実行します</p> <p>積極果敢 ▶ 横並び意識を打破し、失敗を恐れず積極果敢に挑戦します</p> <p>選択と集中 ▶ 目的を見据えて選択と集中を徹底し、経営資源を最大限効果的に活用します</p> |

「挑戦する県庁」に向けた取組

I 挑戦できる体制づくり

政策1 「人財」の育成と実行力のある組織づくり

求められる職員像として「挑戦」「スピード感」「幅広い視野と発想力」を位置づけ

施策(1) 失敗を恐れずに挑戦する多様な「人財」の育成と確保

- ・「人財」育成（女性職員の活躍、民間企業への派遣の拡大、職員研修の充実等）
- ・「人財」確保（社会人採用の推進、障害者の雇用促進、民間との積極的な人事交流等）

施策(2) スピード感を持って挑戦する実行力のある組織づくり

- ・積極果敢に挑む組織づくり
 - ・県民本位の行政サービスの提供
- コロナ対応等をふまえ、主な推進方策の中に、機動的かつ柔軟な組織体制の整備に関する表記を追加

政策2 スマート自治体の実現に向けたデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

施策(1) 県庁DXの推進

- ・業務のデジタル化の推進
 - ・DX推進のための人財の育成と意識改革
- 県庁業務のデジタル化を進めるため「DXの推進」を追加

施策(2) DXによる県民の利便性向上

- ・県民サービスの充実

政策3 働き方改革の推進

施策 職員が意欲を持って仕事ができる環境づくり

- ・多様で柔軟な働き方の推進
- ・仕事の生産性の向上

政策4 多様な主体と連携した県政運営

施策 多様な主体と連携した県政運営

- ・民間との連携・協働強化
- ・国や他都道府県、市町村との連携強化

II 未来志向の財政運営

政策1 戦略的な予算編成と健全な財政構造の確立

施策(1) 「選択と集中」による戦略的な予算編成

- ・好循環を生み出す施策への重点配分
- ・スクラップ・アンド・ビルドの徹底と事務事業の効率化
- ・公共投資の重点化・効率化等

施策(2) 将来にわたって発展可能な健全な財政構造の確立

- ・幅広い手法による財源の確保
- ・公営企業会計・特別会計の健全化の推進
- ・財政健全化目標の設定と財政状況の見える化

政策2 出資団体改革の推進

施策 出資団体改革の推進

- ・出資団体のあり方の見直し
- ・経営健全化の推進
- ・自立的な経営の推進